

世界遺産ウォーク能動体験のすすめ

～歩くことから得られる普遍的価値～

とつかわむら とつかわ こどう
奈良県 十津川村 十津川鼓動の会



おみねおくがけ
なびきツアー大峯奥駈ウォーク。行仙の山小屋前にて参加者と撮影。



なびきツアーの最終日には総勢約60人で、道普請を行った。



こへち はてなし
なびきツアー小辺路ウォーク。果無集落での説明の様子。

事例の概要

- 古道案内を通じて地域に古くから伝わる文化・歴史・精神風土等を守り伝えることを主な活動目的に、村民を中心に「十津川鼓動の会」を結成。会設立以来、古道案内件数、参加者数ともに大幅に増加している。
- 昨年度は、官民一体となって企画立案した「なびきツアー」を実施。夜に山道を歩く闇の体験や電気も水もない山小屋での宿泊など、非日常的な体験で達成感

- を味わえる内容となっている。また、先祖から1,300年受け継いできた「道」を次の世代に引き継ぐための「道普請」と呼ばれる道の整備を地元の人と協働作業で行う。
- 千年以上の歴史をもつ修験道において、厳しい修行を現代風にアレンジし、心と体を使って自身のゴールを目指すという能動体験を盛り込んだ内容となっている。

評価のポイント

奈良県十津川村は、総面積672平方キロメートルの日本最大の村であり、うち645平方キロメートル、実に96%を林野が占める村である。

「十津川鼓動の会」は、世界遺産である熊野古道を中心とした古道案内を通じて、地域に古くから伝わる文化・歴史・精神風土等を守り伝えることを主な活動目的に、将来の産業化を視野に入れ活動している村民を中心とした24名からなる有償ボランティアの語り部団体である。平成13年10月に村からの呼びかけで語り部の育成がスタートし、14年から本格的にガイドの活動を行っている。会の活動としては、来訪者への語り部活動として「果無(小辺路)ウォーク」と「玉置山(大峯奥駈)ウォーク」を定期的にホームページで参加者を募集して実施している。

また昨年度からは官民一体となって企画立案した「なびきツアー」を実施。夜に山道を歩く闇の体験や電気も水もない山小屋での宿泊など、非日常的な体験で達成感を味わえる内容となっている。また、最終日には先祖から1,300年受け継がれてきた「道」を次の世代に引き継ぐための「道普請」といわれる道の整備を地元住民と協働作業で行う。厳しい修行を現代風にアレンジし、心と体を使って自身のゴールを目指すという能動体験を盛り込んだ内容となっている。

本事例は、都市から遠く広大で険しい過疎地域にあって、地域への誇りと祖先への畏敬の念を持ちながら、着実に活動の範囲を広げ、実績を伸ばしている取組として評価された。



こへち はてなし
なびきツアー小辺路ウォーク。参加者は世界遺産の果無集落手前の石畳を、語り部を先頭に歩く。



玉置神社境内。日本最古と言われる社務所等は、国の重要文化財に指定されている。

奈良県 十津川村(とつかわむら)



国勢調査人口

昭和35年	昭和45年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
15,588	8,502	5,516	5,202	4,854	4,390

人口増減率

H17/S35	H17/S45	H7/H2	H12/H7	H17/H12
△71.8	△48.4	△5.7	△6.7	△9.6

高齢者・若年者比率(17年)

高齢者比率	37.9%
若年者比率	11.1%

交通のご案内

自動車 大阪方面から、南阪奈道路 葛城IC～五條市～国道168号を南へ約100分
新宮方面から、国道168号を北へ約80分

鉄 道 近鉄八木駅から奈良交通バスで、約3時間30分
JR五條駅から奈良交通バスで、約2時間30分
JR新宮駅から奈良交通バスで、約2時間

飛行機 白浜空港から国道311号經由本宮から国道168号を北へ約110分

団体連絡先

十津川鼓動の会
〒637-1217
奈良県吉野郡十津川村大字風屋
TEL. 0746-67-0166
十津川鼓動の会専用電話
090-8937-6920
<http://www5.kcn.ne.jp/~saka1951/index.html>